

<平成25年7月>

# 三鷹市議会議員 渥美 典尚 あつみのりひさNEWS



三鷹市議会議員  
あつみ 渥美 典尚  
のりひさ



連絡先：〒181-0004 三鷹市新川4-24-7 あつみのりひさ と歩む会  
電話：0422-48-6338 FAX：0422-48-6338  
HP「あつみのりひさ」と検索！ atsuminorihisa@gmail.com

◆6月6日から6月25日まで平成25年第2回定例会(6月議会)が開催されました。

今回の議会での大きな議案としては「三鷹市図書館条例の一部を改正する条例」がありました。これは5つめの三鷹市立図書館分館として、「三鷹市立南部図書館(仮称)」を新設するためのもので、それとともに規定を整備したものです。(詳細後述)

また補正予算では、新たに上連雀2丁目と下連雀4丁目に開設を予定している私立認可保育所2園に対して施設整備の助成を行うために4375万円が予算計上されました。

詳細は、広報みたか、みたか議会だより、市議会ホームページなどをご覧ください。

◆.....◆

## 平成25年第2回定例会にて 市政に関する一般質問をしました。

◆三鷹市議会6月議会にて、市政に関する一般質問を行いました。これで渥美典尚の一般質問回数は連続計25回となりました

## 市での物品購入、工事・事業委託等における 市内事業者の積極的活用について

◆政権交代以来、アベノミクスにより景況感の高まりが感じられるようにはなったということですが、多くの中小事業所は未だ厳しい経営環境に直面しています。市で発注する契約においては、市内の事業者を積極的に採用し、「市内でお金をまわす」ことが必要です。それにより市内事業者の経営状況を多少では

あっても支援させていただくことができるのではないのでしょうか。

そこで、市のそれぞれの部課にて独断で発注できるような少額な契約(入札によらないもの)においては、市内事業者へ積極的に発注・活用するよう提言いたしました。

具体的には、

- ① ¥130万以下の工事・修繕
- ② ¥50万以下のアウトソーシング・委託
- ③ ¥40万以下の物品のレンタル・借入
- ④ ¥30万以下の物品の購入

などにおいて市内業者を優先して発注してもらうようにしたいと考えます。

また、インターネット通販での購入や委託があるのか現状を聞いたところ、そのような実績は見つからなかったということでした。

市内事業者の活用は市と市民の持ちつ持たれつの最たる関係です。今後も、あらゆる契約において市内事業者の活用を積極的に行うよう提言してまいります。

◆.....◆

## 5月の臨時議会において、議長・副議長・監査役の人事がありました。

◆5月の臨時議会において、市議会新議長に伊藤俊明議員(自由民主クラブ)、副議長に川原純子議員が再任(公明党)、監査役に高谷真一郎議員が再任(民主党)いたしました。なお、渥美典尚は、文教委員会委員長を拝命し、6月議会から委員会の運営を行っています。

## 三鷹市立南部図書館（仮称）が

11月24日に開館します。

◆三鷹市では約20年ぶりの新設となる図書館分館、「三鷹市立南部図書館（仮称）」（新川5丁目14-16）の開設準備をしております。開館は11月24日を予定しています。

この図書館は「公益財団法人アジアアフリカ文化財団」が建設する新施設の1階全部と2階の一部を借り上げ、三鷹市が整備するものです。床面積は約760㎡で、これは東部図書館や西部図書館より若干広くなっています。約7万冊の蔵書能力があり、90席程度の閲覧席が用意され、また、屋外テラスも設けられて談話や飲食もできるという居心地の良い滞在型という新しいタイプの図書館を目指しています。

また、アジアアフリカ文化財団が所有する「郭沫若（かくまつじゃく）文庫」等の文化的資源を生かした特色ある事業の展開が予定されています。

### ◆.....◆ <郭沫若文庫とは？>

郭沫若の日本亡命時代の旧蔵書約1,350冊と書軸、甲骨文字片、文房具類、陶器類などからなる。郭沫若（1892～1978年）は中国の近代文学・歴史学の先駆者で、中華人民共和国の初代副総理となった政治家。郭沫若文庫設置発起人には財界人や学者、谷崎潤一郎、川端康成などの文学者が名を連ねている。この保存運動をきっかけに1958年にアジア文化図書館が設立され、1962年にアジアアフリカ図書館に改名した。

アジアアフリカ図書館は、郭沫若文庫のほか、アジア・アフリカ諸国に関する原書・英語・日本語の図書、約20,200冊や工芸品などを所蔵する。

【建設中のアジアアフリカ文化財団施設】



### ◆.....◆ 谷端二の橋に手すりを設置しました。

◆新川4丁目23に位置する仙川の橋、谷端二の橋に手すりを設置しました。この橋の南側は、車高の低い車はシャーシを擦ってしまうくらいの急坂となっているため、お年寄りの安全な歩行のためにと近隣市民の要望により設置したものです。これは、谷端一の橋の南側階段に設置した手すりに続くものです。

このような手すりは実際に不便や危険を感じる方でないとならば必要性を実感できないものですから、提言いただきありがとうございます。



手作り・簡易印刷の活動報告です。印刷の品質はご容赦ください。